

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 鈴木 真理	
環境-24	深沢クリーンセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-②快適な生活環境の保全

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

・し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る施設の運転及び維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	深沢クリーンセンター管理運営事業	光熱水費、施設維持等消耗品費等	—	/	—	—	
			24,689	/	26,233	29,859	
02	深沢クリーンセンター維持修繕事業	維持修繕	計画停止期間を除く施設停止の日数をゼロとする(%)	100	/	100	100%
			6,621	/	6,678	7,803	
03				/			
				/			
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金		/		
			地方債		/		
			その他特定財源	241	/	239	238
			一般財源	31,069	/	32,672	37,424
			事業費の合計(千円)	31,310	/	32,911	37,662
		人件費(千円)			20,290	20,783	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.5	3.5	2.5	2.5		
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0	1.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	深沢クリーンセンター管理運営事業	施設を適正に運営するための維持管理であり、指標の設定は困難である。	公衆衛生を図ることで、市民の快適な生活環境の保全を図ることに寄与している。構成する事業として必要であるため、妥当である。	搬入物の内容を確認し、適切な設備の運転をする必要がある。
02	深沢クリーンセンター維持修繕事業	適切な維持修繕を行い、100%の稼働率に寄与した。	公衆衛生を図ることで、市民の快適な生活環境の保全を図ることに寄与している。構成する事業として必要であるため、妥当である。	耐用年数を超えている機器があるため、点検により状況を確認し、その結果に応じて修繕計画を更新する必要がある。
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
一般廃棄物を受入れることから、適正かつ安定的な処理が必要である。 機能を維持するために、計画を立て適切な維持管理に務めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	廃棄物の処理は市町村の固有事務であるため、収集や処理の方法が市町村によって異なります。このため当該事業実施に伴う他市との比較はできません。
--------------------------	---